

(1) 医師から皆様へ 《 乳がんの話 》

●増えている乳がん

乳がんの患者さんは年々増加し、現在では年間約9万人が新たに乳がんと診断されていると推定されています。40歳代から60歳代が最もかかりやすく、ほかのがんに比べ比較的若く、仕事や子育て・介護などで忙しい世代です。まれですが男性も乳がんになることがあります。



●乳がんの症状は？

乳房にしこりを触れるというのが最も多い症状ですが、最近は検診で見つかる症状のない患者さんも増えています。日頃から自己検診を行って、自分の乳房の状態を知っておけば変化に気付きやすくなります。閉経前の方は乳房の張りがおさまってくる月経後数日が分かりやすいでしょう。乳頭からの分泌物、乳房の左右差などにも注意しましょう。

●乳房にしこりを感じたら？

乳房に症状のある方や乳がん検診で精密検査を勧められたときは、「乳腺外来」を受診し視触診、マンモグラフィや乳腺エコーなどの詳しい診察を受けて下さい。マンモグラフィは、乳房を圧迫し薄く引きのばしてレントゲンで撮影する検査で、乳がん検診で広く用いられています。乳腺エコーは、超音波が出るプローブを乳房にあて観察する方法です。被曝がなく、血流や硬さなどの情報も同時に得ることができます。必要に応じて、乳房を多方向から細かいスライスで撮影するトモシンセシス、乳房造影MRIなどを追加します。これらの画像検査では、石灰化やのう胞といった、良性の変化もよく見つかります。疑わしい異常がある場合は、細い針で細胞や組織を採取して、顕微鏡でがん細胞があるかどうかを調べる「生検」や、その他の画像検査を追加することがあります。



●乳がん検診のすすめ

乳がんは早期に発見、治療することで治る可能性の高い病気であり、定期的ながん検診を受けることが勧められます。わが国では、40歳以降の女性は2年に1回のマンモグラフィを併用した検診が勧められています。残念ながら日本の検診受診率は40%程度と低いのが現状です。乳がんはすべての女性にとって身近な病気です。ご自身だけではなく、家族や友人、職場の同僚など、誰にでも起こりうるものとして、皆さんで関心を持っていきましょう。当院の健診センターでは、西宮市の

乳がん検診のご利用のほか、より詳しい検査をご希望の方は、トモシンセシスや超音波検査を追加することができます。受診者の方に配慮し、検査は女性技師が行っています。予約制となりますのでお問い合わせください。

外科 乳腺・内分泌担当医長 松之木 愛香

(2) 健康講座のお知らせ ※無料、参加自由

- ・演 題 : それって、ほんま? 「睡眠薬とは?最終編」
- ・講 師 : 非常勤医師 谷田 憲俊
- ・日 時 : 3月29日(木) 14:00~14:50
- ・場 所 : 明和病院 南館5階 明和ホール東



(3) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

- ・演 題 : 介護 もっと快適に ~介護保険の上手な使い方~
~訪問看護の現場から~
- ・講 師 : 訪問看護センター明和
主任 山形まゆ美(ケアマネジャー・看護師)
主任 中島 淳美(認知症ケア専門士・看護師)
- ・日 時 : 3月27日(火) 14:00~15:30
- ・場 所 : 鳴尾東公民館(Tel 49-1300) ※無料(参加自由)



(4) 明和病院ラジオコーナーのお知らせ♪



ラジオ大阪(AM1314・FM91.9)にて、毎週土曜日午前7時15分から『桑原あずさのas life(アズライフ)』内で明和病院の職員が出演するコーナー“ワンポイントホスピタル”が放送中です。番組は心とからだの健康をテーマとした内容になっておりますので、是非ご聴取ください。

【3月放送予定】※番組内容は、都合により予告なく変更する場合があります。

- 産婦人科部長 星野 達二 (3月3日放送予定)
 - 整形外科部長 山口 基 (3月10日放送予定)
 - 副院長兼総合診療科内科系担当部長 早川 勇二 (放送日未定)
- ※その他2名出演予定。(放送日未定)

(5) コンビニエンスストア リニューアルオープンのお知らせ

このたび「サークルKミニ店舗」が、『ファミリーマート明和病院店』としてリニューアルオープンすることとなりました。つきましては、4/6(金)~4/9(月)の4日間 店舗改装の為一時休業いたします。ご不便をお掛けして申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願い致します。